

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

資料4

令和 年 月 日

協議会名: 仙台市交通政策推進協議会

評価対象事業名: 地域公共交通利便増進事業(利便増進計画推進事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>統合時刻表及びポスター、チラシ等の作成 「八木山ラインポケット時刻表・仙台都心循環線ポスター」を作成。 ポケット時刻表は八木山ライン沿線9,000世帯、仙台都心循環線ポスターは市内全ての小学校・児童館・幼稚園・保育所等に約400枚を配布。</p>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。	八木山ライン・仙台都心循環線について、利用促進につなげるため、広報等による支援を継続して検討・実施。
<p>ダイヤ調整の状況調査実施 八木山ライン(仙台市交通局・宮城交通(株)が運行している既存バス路線のうち、「仙台駅前～霊屋橋経由～八木山動物公園駅」間を指す)を運行するバス路線を対象とする路線バス利用者数調査(オフピーク時間)を実施。また、路線バス利用者へのアンケート調査の実施。</p> <p>【今後予定している内容】 路線バス利用者へのアンケート調査の集計・分析</p>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。	利用状況を確認し、効果的な施策展開に繋げていくため、八木山ライン・仙台都心循環線について、状況調査を行う。
<p>モビリティ・マネジメントの実施 八木山地域にて、地域住民9000世帯を対象としたアンケート調査と合わせて公共交通に関する情報提供及び公共交通に親しみをもつきっかけとなるイベントを開催。</p> <p>【今後予定している内容】 事後調査及びアンケート調査の集計・分析</p>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。	モビリティマネジメントによる意識変容を定着させるためのフォローアップを継続して実施。

地域の概要

1. 基礎データ

仙台市
 人口: 1,063,262人
 (R5.4.1現在・住民基本台帳)
 面積: 78,635 平方キロメートル
 過疎地域等指定: 山村(旧秋保村、旧広瀬村、旧大沢村、旧根白石村)
 高齢化率: 24.92%(R5.4.1)
 協議会開催数: 3回、公共交通ワーキング開催数: 8回
 (R5.4 ~ R5.12)

2. 公共交通の概況

【乗合バス】

路線バス

運行: 仙台市交通局、宮城交通(株)、愛子観光バス(株)、(株)タケヤ交通

路線: 90路線

【鉄道】

運行: 東日本旅客鉄道(株)

路線: 4路線

【地下鉄】

運行: 仙台市交通局

路線: 2路線

【タクシー】

運行: タクシー事業者47社
 エリア: 仙台地区

【乗合タクシー】

運行: (有)高砂タクシー
 エリア: 宮城野区燕沢地区

【デマンドタクシー】

運行: KM仙台タクシー(株)、(有)秋保交通、相互タクシー(株)
 エリア: 太白区坪沼地区、秋保地区、生出地区、青葉区新川地区

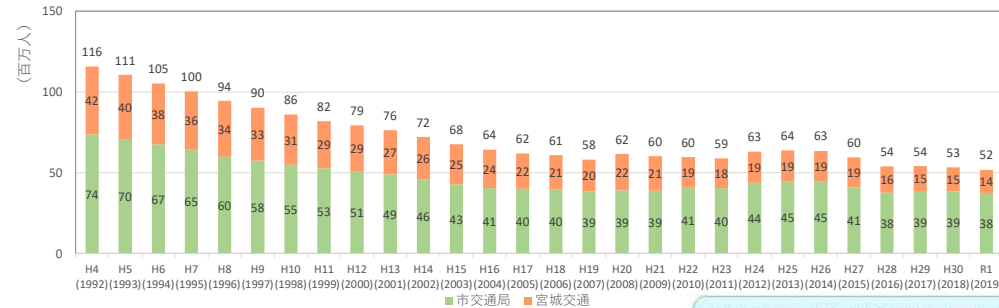
【フェリー】

運行: 太平洋フェリー(株)
 路線: 2路線

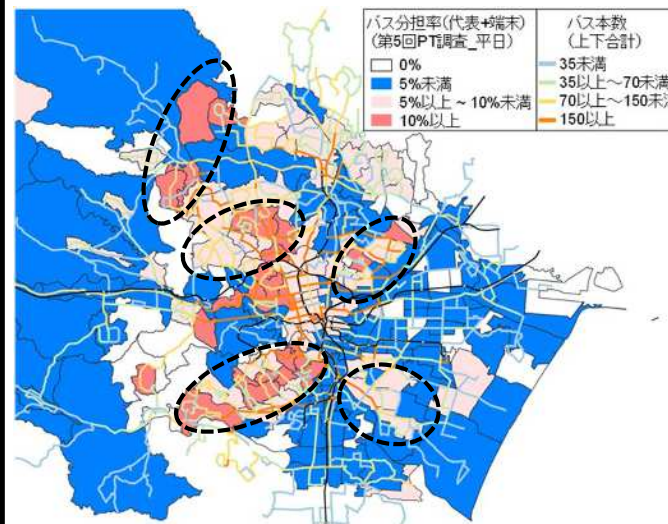
バス事業においては、長期にわたる乗車人員の減少傾向から厳しい経営状況が続いているが、公共交通を中心とした交通体系は、都市の基盤として、広域的な交流・連携や、通勤・通学・通院などの日常生活における移動を支え続ける必要があり、公共交通機関の安定運行や地域主体の移動手段の確保等に向けて、安定的・効率的な公共交通体系の構築が喫緊の課題である。

3. 公共交通の問題点

- ① 人口は近い将来にピークを迎えた後、緩やかに減少し、高齢化が今後も進む見込みであり、人口減少に伴う公共交通の利用者の減少・高齢化による移動制約者の増加が懸念される。
- ② 鉄道利用は増加傾向にあるが、路線バスは長期間の乗車人員の減少傾向から経営状況が厳しい。
- ③ バスの分担率は4%程度だが、鉄道・地下鉄沿線から外れた地域ではバスの分担率が比較的高い。
- ④ 大型二種免許保有者の減少により、バス運転手の確保が困難さを増すことに加え、バス車載機やバス営業所建物等、施設設備の更新に多額の費用が必要となる。
- ⑤ 都心部では歩行者が仙台駅周辺に集中し、都心内での回遊性が低くなっており、公共交通等による都心の回遊性強化が求められる。



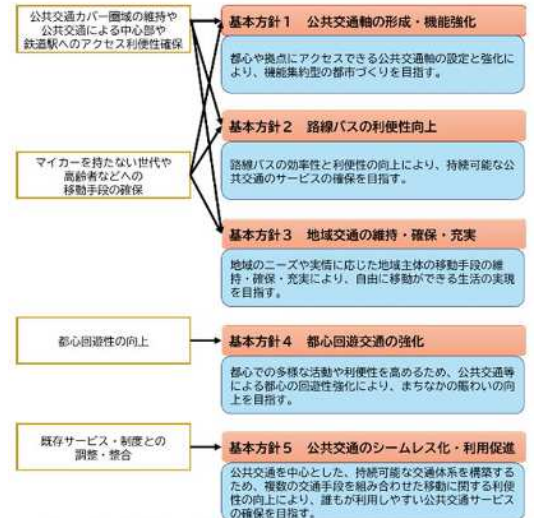
【バス乗車人員の推移】



【地域別バス分担率(平日・代表+端末)(2015)】

市民との協働により、地域の実情に合った、誰もが利用しやすい質の高い公共交通を持続的に確保し、自由に移動ができる生活の実現とまちなかの賑わい向上をめざします。

【課題】



【公共交通に関する目標と基本方針】

※記入する際、枠の大きさの変更及び次頁に作成することも可能とします。

仙台市交通政策推進協議会

事業内容

【事業評価時点で完了している内容】

1. 統合時刻表及びポスター、チラシ等の作成
2. ダイヤ調整の状況調査実施
 - (1) 路線バス利用者数の施策前後の比較・分析
 - (2) 路線バス利用者へのアンケート調査の実施
3. モビリティマネジメント
 - (1) 地域住民アンケートの作成・集計
 - (2) イベントの開催

【今後予定している内容】

2. ダイヤ調整の状況調査実施
 - (1) 路線バス利用者へのアンケート調査の集計・分析
3. モビリティマネジメント
 - (1) 地域住民アンケートの分析

今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

2. ダイヤ調整の状況調査実施
 - 12月 アンケート集計・分析
 - 1~3月 調査とりまとめ
3. モビリティマネジメント
 - 12~2月 事後調査・効果検証
 - 3月 地域へのフィードバック

【今後の動き】

八木山ライン・仙台都心循環線について、状況調査を行った上で、沿線住民や来訪者への利用促進につなげるための効果的な周知広報を実施していく。
また、効果的なコミュニケーション手法について把握するとともに、交通事業者、関係機関と連携し、公共交通の利用促進に努める。

事業実施概要

1. 統合時刻表及びポスター、チラシ等の作成
「八木山ラインポケット時刻表・仙台都心循環線ポスター」を作成。
ポケット時刻表は八木山ライン沿線9,000世帯、仙台都心循環線ポスターは市内全ての小学校・児童館・幼稚園・保育所等に約400枚を配布。

仙台市交通局・宮城交通(株)
【仙台駅方面】
統合時刻表(平日)
丸の内線
仙台市営バス
宮城交通バス
利便性向上のため、仙台市交通局と宮城交通とで時刻を調整しました。
仙台市交通局 都市整備局 公共交通推進課
電話 022-214-8353
Eメール info@city.sendai.jp

ポケット時刻表

ポスター

2. ダイヤ調整の状況調査実施
R5.3に策定した「仙台市地域公共交通利便増進実施計画」に位置付け、R5.4から実施している八木山ラインの状況調査のため、施策前後のバス利用者数を系統や券種別に整理し、比較・分析を実施。
また、バス利用者を対象とした利便性向上、利用頻度に関するアンケートを実施。

3. モビリティマネジメント
 - ・8月に八木山地域9,000世帯を対象に事前調査アンケートを実施。
 - ・9月に調査参加意向の世帯へ本調査を実施。
 - ・行動変容が期待できる子育て世帯を対象に9月の交通フェスタ参加を促す情報提供や交通フェスタ参加者へ一日乗車券を配布するなどの取組みを実施。
 - ・11月の八木山フェスタにて、地域住民を対象に、バスに対する意識変容を目的とした路線バスの模擬乗車体験イベントを実施。
 - イベントと合わせて一日乗車券を配布。



9月 交通フェスタ



11月 八木山フェスタ

仙台都心 循環バス まちの「チョコット」 with キプラス
きみも「チョコット」のってみたい?
乗ってワクワク!
キプラスのキプラスで、楽しくなかなを過ごそう。
仙台市 都市整備局 公共交通推進課
TEL 022-214-8353